



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	第6回国際協力カフェ@北大図書館 : トークライブ!「見た!住んだ!変わりゆくアフリカの今」
Author(s)	古澤, 輝由; 芹沢, 領; JICA 他
Description	第三部「変わりゆくアフリカ」のデータ転用の際はJICAアフリカ部までご連絡をお願いします。
Relation	第6回国際協力カフェ@北大図書館: トークライブ!「見た!住んだ!変わりゆくアフリカの今」. 2016年11月18日(金). 主催:北海道大学附属図書館(国連寄託図書館)、国際協力機構北海道国際センター(JICA北海道), 協力:北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)
Issue Date	2016-11-18
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/63942
Type	lecture
File Information	Part3.pdf, 第3部「変わりゆくアフリカ」話し手: 友成晋也氏



図書展示@本館 2 階オープンエリア

トークイベントの語り手 2 人が選んだアフリカの本【11/14-11/25】

写真パネル展示@本館玄関ロビー&渡り廊下

JICA 提供「変わるアフリカ」【開催中 -11/30】

関連企画:公開トークイベント

第6回国際協力カフェ @北大図書館

11/18(Fri.) 18:30-20:00

北海道大学附属図書館(本館) 2 階オープンエリア

語り手



芹沢 領さん

先月、ODA の現場を視察する「国際協力レポーター」としてセネガルに一週間滞在。アフリカで感じた“ほやほや”をお伝えします。農業を研究する北大農学院修士 2 年生。CoSTEP11 期生。



古澤 輝由さん

2011 年から 2 年半、青年海外協力隊としてマラウイ共和国に赴任。現地で生活し、科学教育に携わる中で目にした「アフリカの今」をお話します。現在、北大 CoSTEP スタッフ。

聞き手

友成晋也さん (JICA 北海道次長)

1996 年からガーナ、2012 年からタンザニアの JICA 事務所に勤務

見た! 住んだ!

変わりゆくアフリカの今

参加申込

当日参加も受け付けますが、なるべく以下 URL もしくは QR コードから事前にお申込ください。
事前申込者には先着 20 名様まで飲み物をご用意いたします。
<https://www.lib.hokudai.ac.jp/2016/10/27/41382/>



問合せ先

北海道大学附属図書館 利用支援課 読書支援担当
TEL:011-706-2973
E-mail:cref@lib.hokudai.ac.jp



主催:北海道大学附属図書館(国際関係図書館)、国際協力機構北海道支センター(JICA 北海道)
協力:北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)

見た！住んだ！ 変わりゆくアフリカ

【第一部】

古澤さんに訊く「最近のアフリカ」

【第二部】

芹沢さんに訊く「素人が見た生のアフリカ」

【第三部】

変わりゆくアフリカ

【質疑応答】

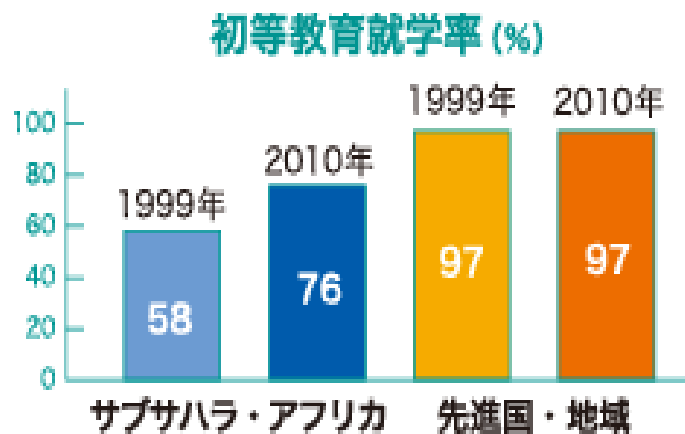
第三部 「変わりゆくアフリカ」
のデータ転用の際は
JICAアフリカ部まで
ご連絡をお願いします。

【第三部】変わりゆくアフリカ

指標でみる アフリカの変化

学校に行ける子どもの割合が低い

先進国・地域の97%に対し
サブサハラ・アフリカの多くの国は76%

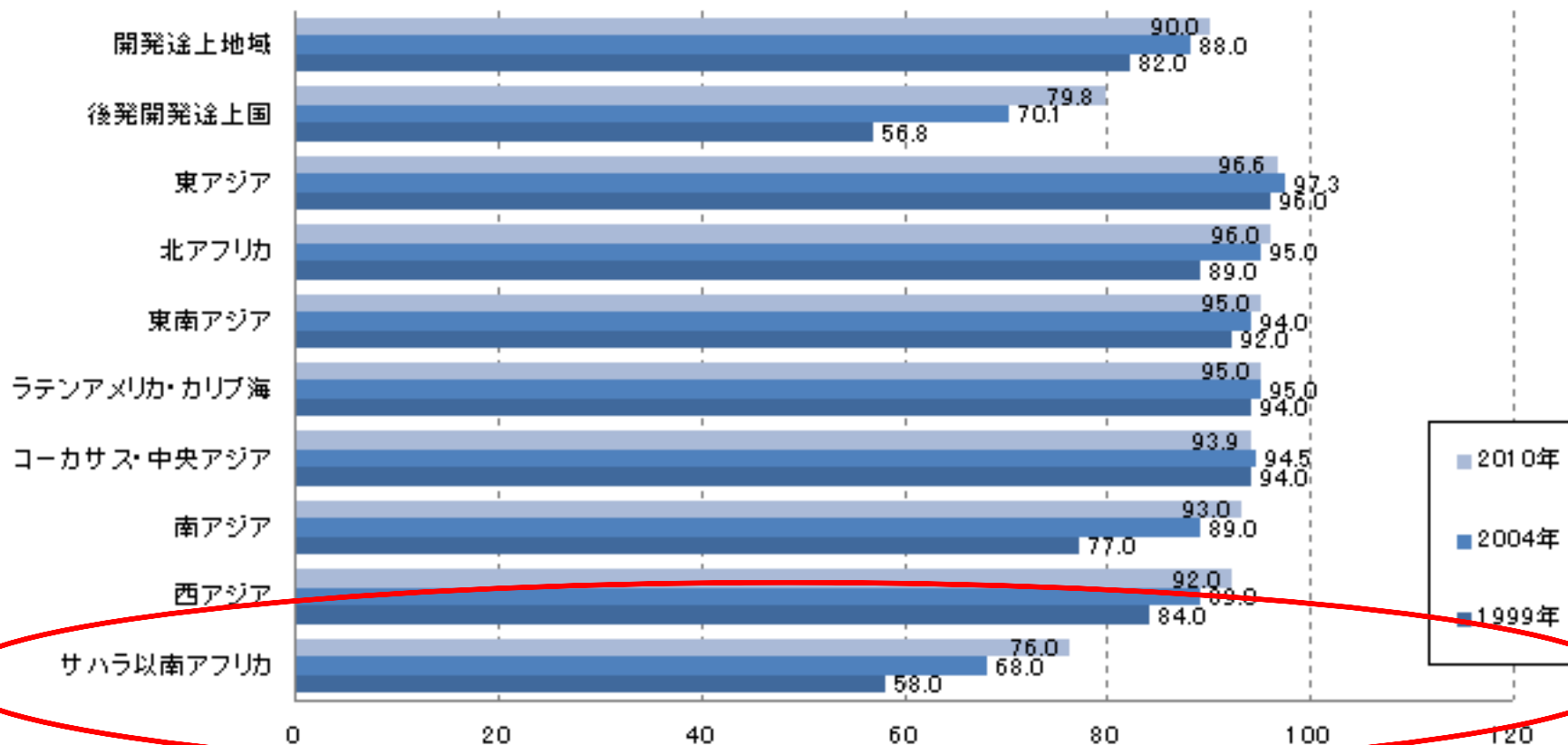


グラフ出典: 国連ミレニアム開発目標 (MDG's) 報告2012



教育(純初等教育就学率): 58.0%(1999) ⇒ 76.0%(2010)

総純初等教育就学率(1999年、2004年、2010年の比較(%))

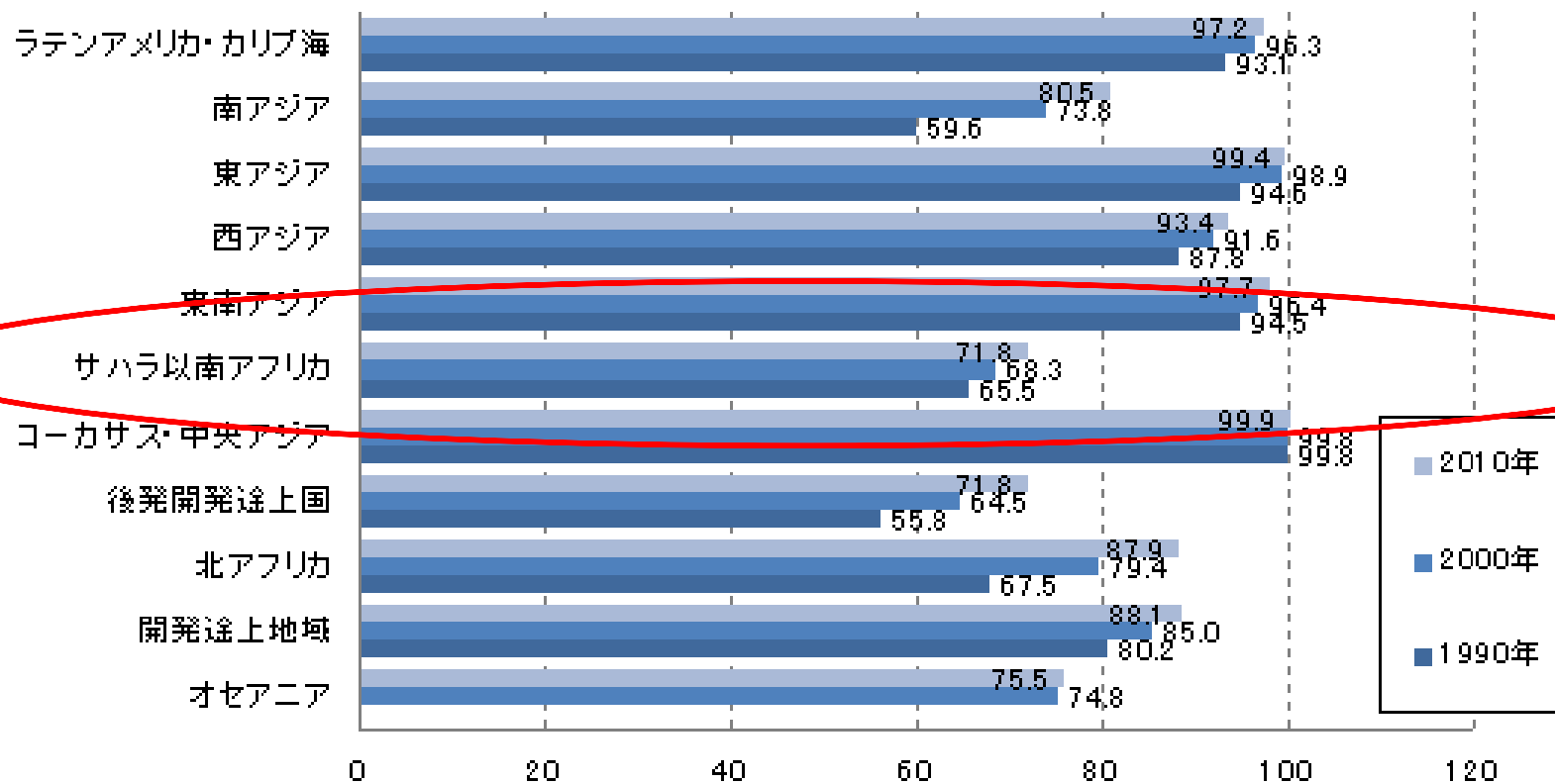


出典: UN The Millenium Development Goals Report 2012

作成: 国際協力NGOセンター

青少年識字率: 65.5% (1990) ⇒ 71.8% (2010)

15-24歳の識字者の割合(%)



出典: UN The Millenium Development Goals Report 2012

作成: 国際協力NGOセンター

5歳まで生きられずに死んでしまう 子どもが多い

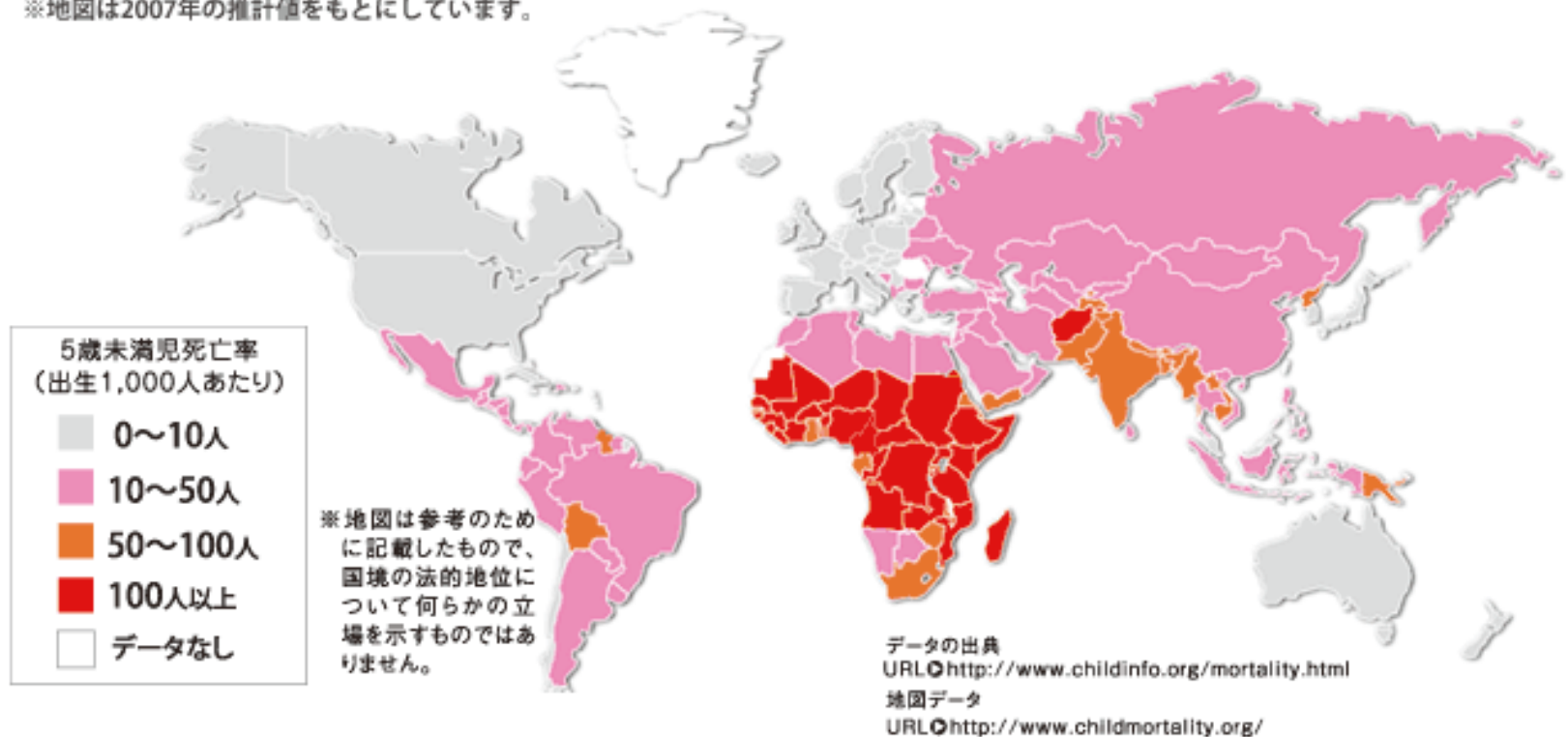
先進国地域が出生1000人あたり7人に対し、
サブサハラ・アフリカは121人



写真提供: 飯塚明夫

■国別の5歳未満児死亡率■

※地図は2007年の推計値をもとにしています。



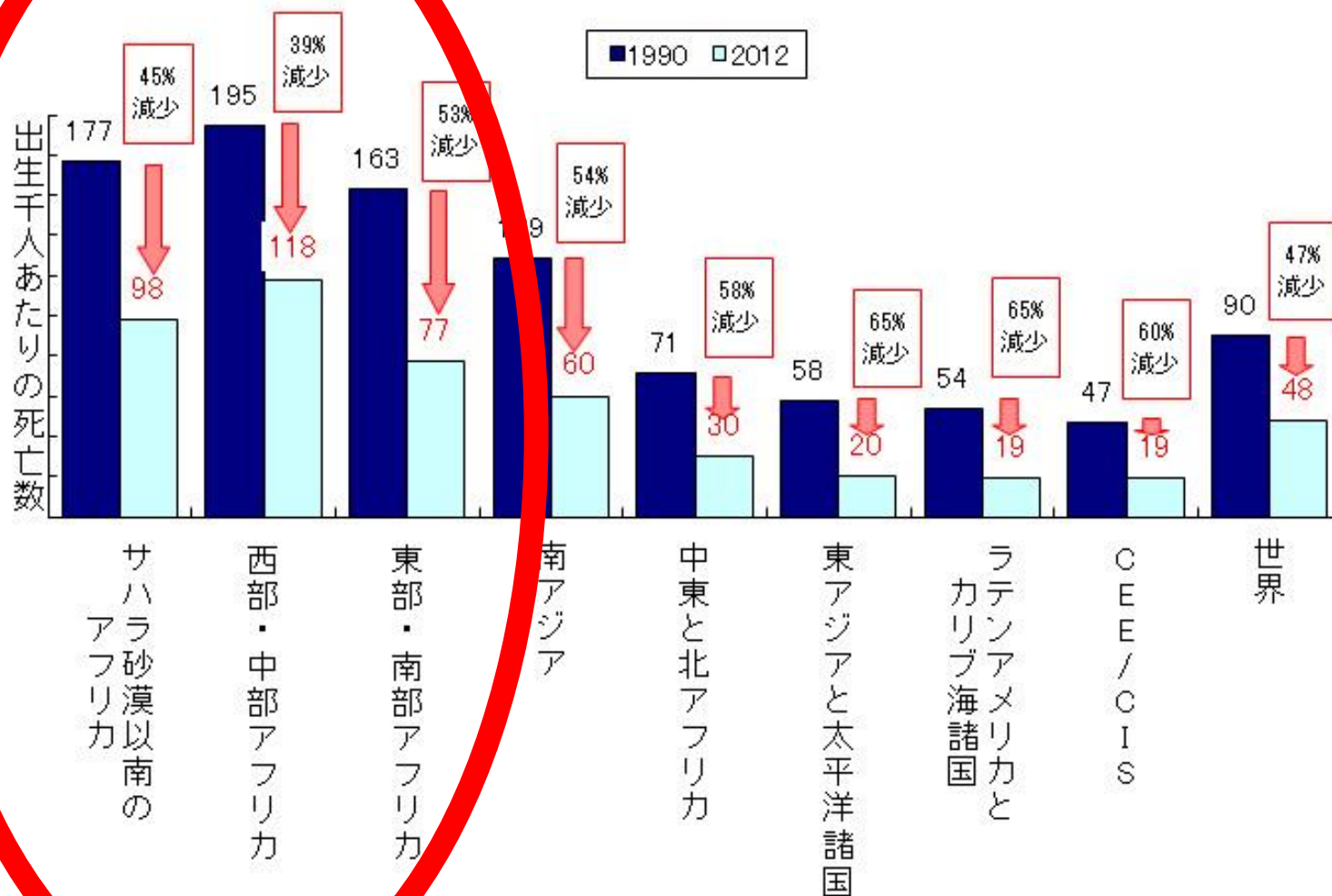
5歳未満児死亡率が高い国は、サハラ以南のアフリカや南アジアに多くMDG目標4※を達成するためには、これらの地域での状況の改善が重要です。

※2015年までに、5歳未満児の死亡率を1990年の水準の3分の1に削減する。

出典: UNICEF

https://www.unicef.or.jp/special/10sum/5th_birth.html

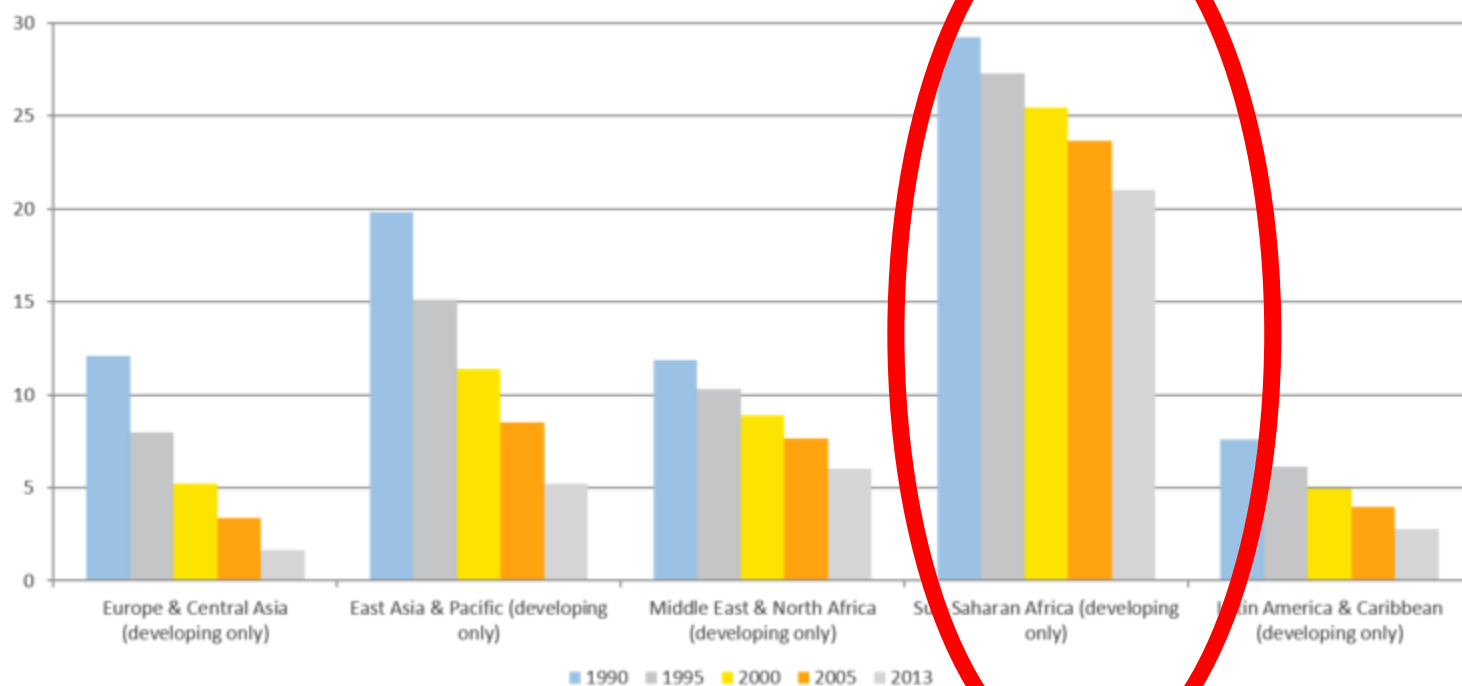
5歳未満児死亡率推移(1990年と2012年の比較)



出典: UNICEF

http://www.unicef.or.jp/osirase/back2013/1309_02.html

栄養失調児の比率: 28% (1990) $\Rightarrow$ 21% (2013)



出典: UN-WIDER

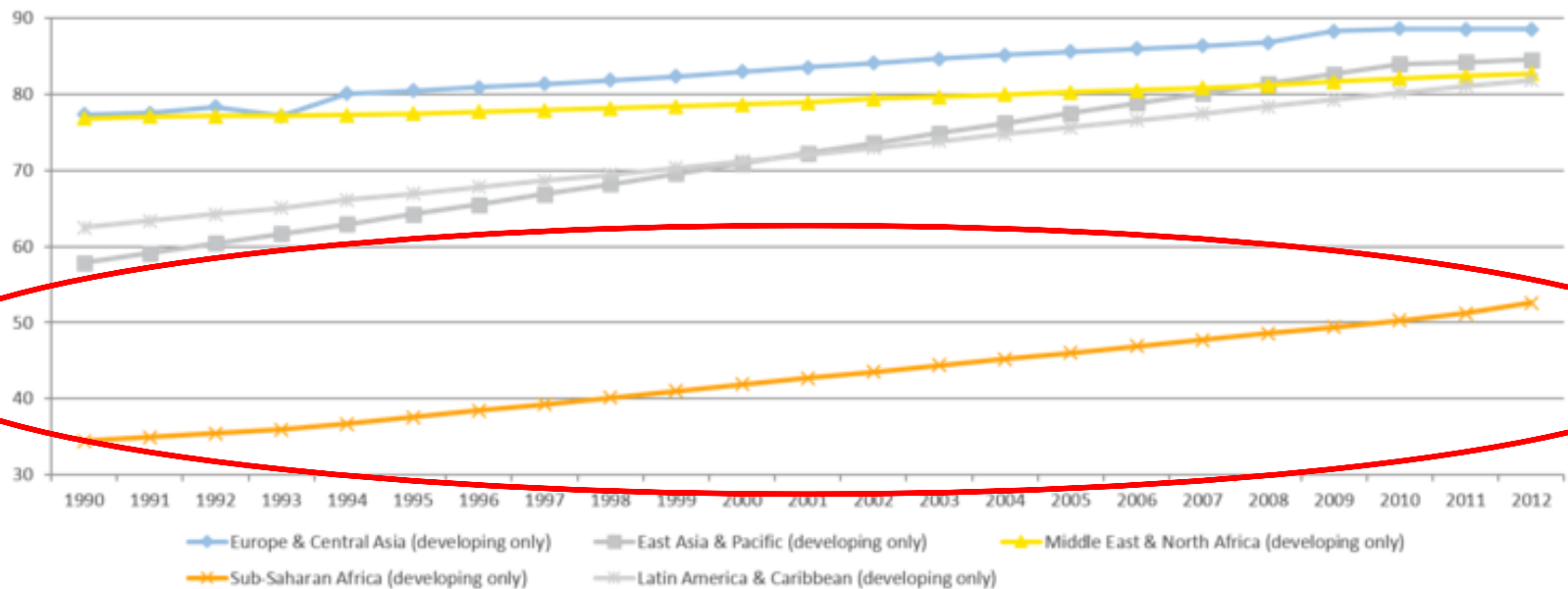
清潔な水を使える人が少ない

日本の100%に対し、サブサハラ・アフリカの多くの国は75%未満

1人1日当たり最低20リットルの安全な水が住居から1キロ以内の距離に確保されている人口の割合



安全な水へのアクセス率: 34% (1990) $\Rightarrow$ 53% (2013)

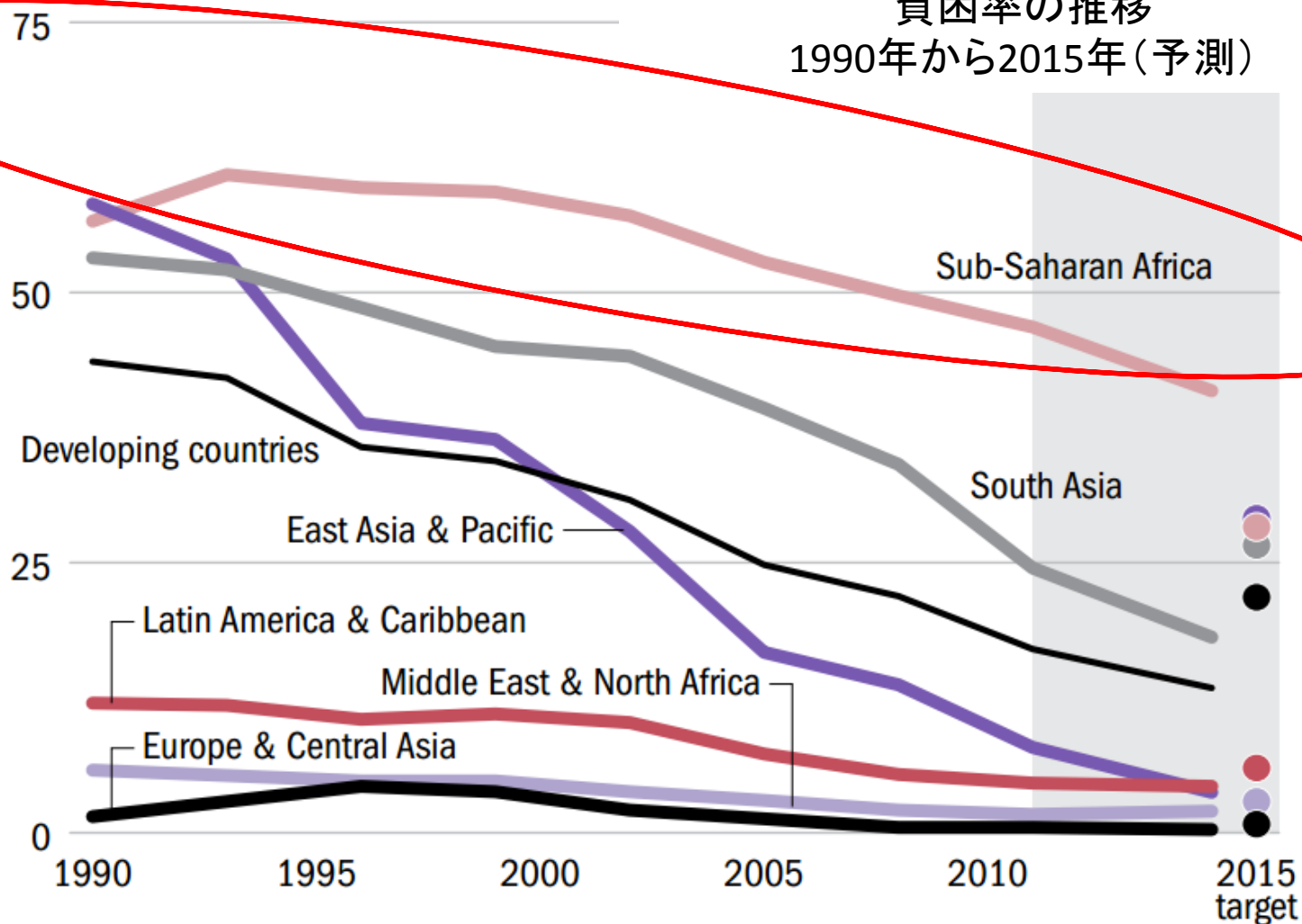


出典: UN-WIDER

貧困 問題

1日1.25ドル以下で暮らす人の割合 が一番高い

貧困率の推移
1990年から2015年(予測)



Source: World Bank PovcalNet (<http://iresearch.worldbank.org/PovcalNet/>).

**アフリカには依然
課題があるが、改善傾向**

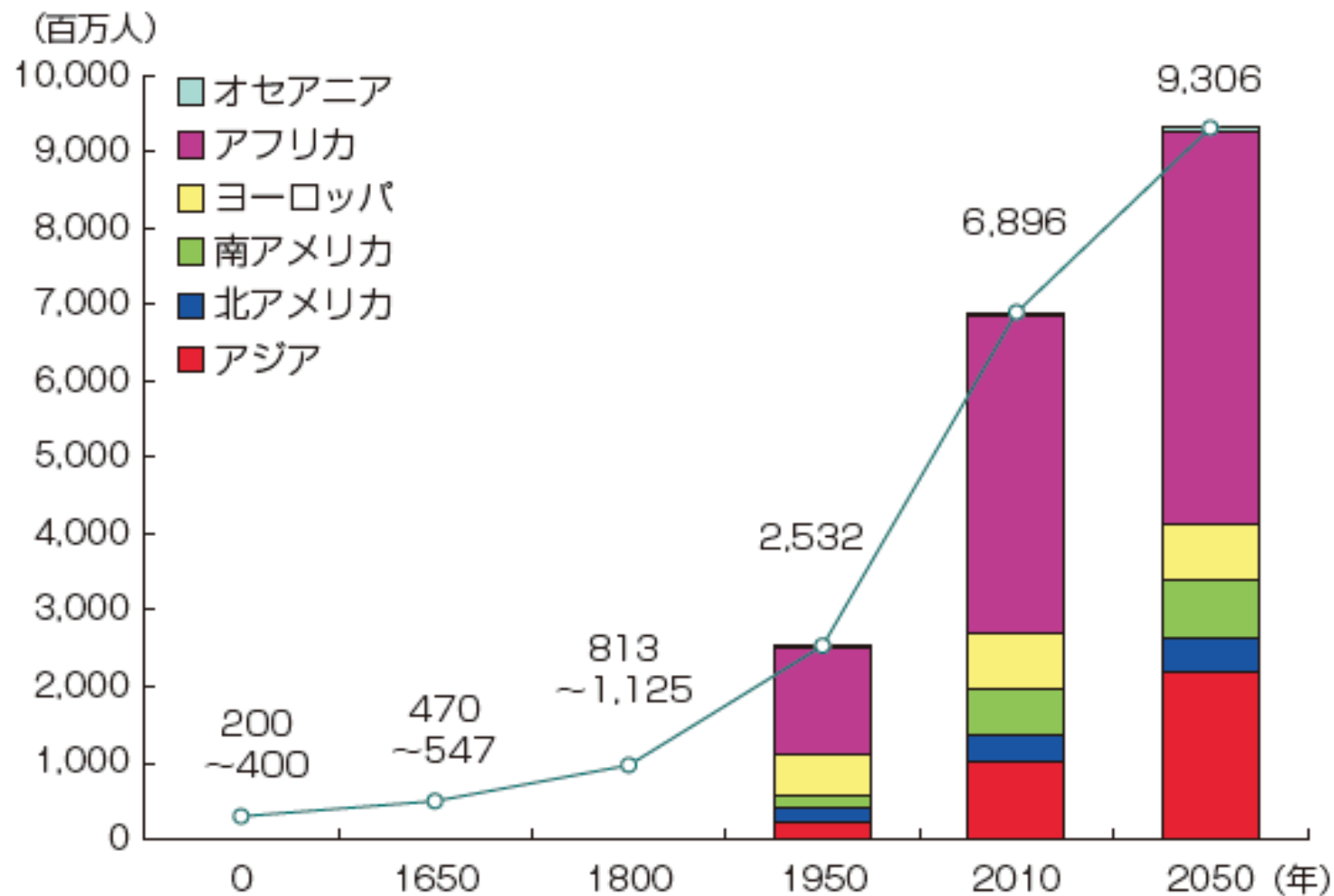
アフリカの人口予測

- 人口:10.08億人(2009) → 20.92億人 (2050)
- 都市人口率:32%(1990) → 58% (2050)

- 労働人口(15-64歳): **中国・インドを抜く**
約6億人(2012) → 14億人 (2050)

出典:国立社会保障・人口問題研究所

世界人口の地域別推移と見通し



出典：資源・エネルギー庁

<http://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2012.html/2-0.html>

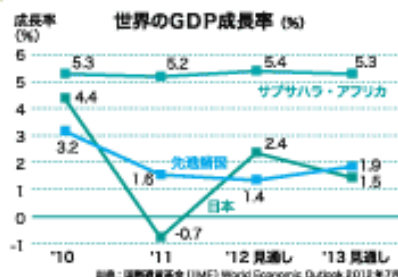
成長するアフリカ

人口の増加率2.3%
(日本は減少)

経済成長率5.4%
(日本2.4%)

●アフリカの経済成長

近年、アフリカの経済成長率は世界的に見て高い水準にあります。2008年には世界金融経済危機の影響を受けましたが、今後もこのまま成長することが予想されています。

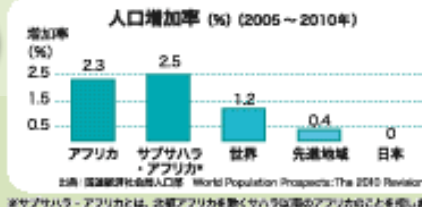


国際通貨基金 (IMF)

World Economic Outlook:2012年7月

●人口の増加

世界と比べて急速な人口増加を示す巨大な市場アフリカに対し、世界が大きな関心を持っています。また人口の増加は若者の増加を意味し、発展の兆しでもあります。



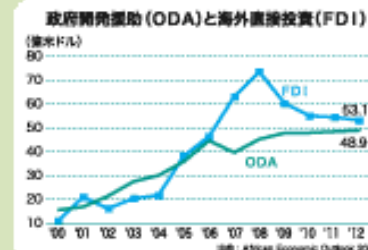
国連経済社会局人口部

World Population Prospects:2010 Revision

**対アフリカ援助
から投資へ**

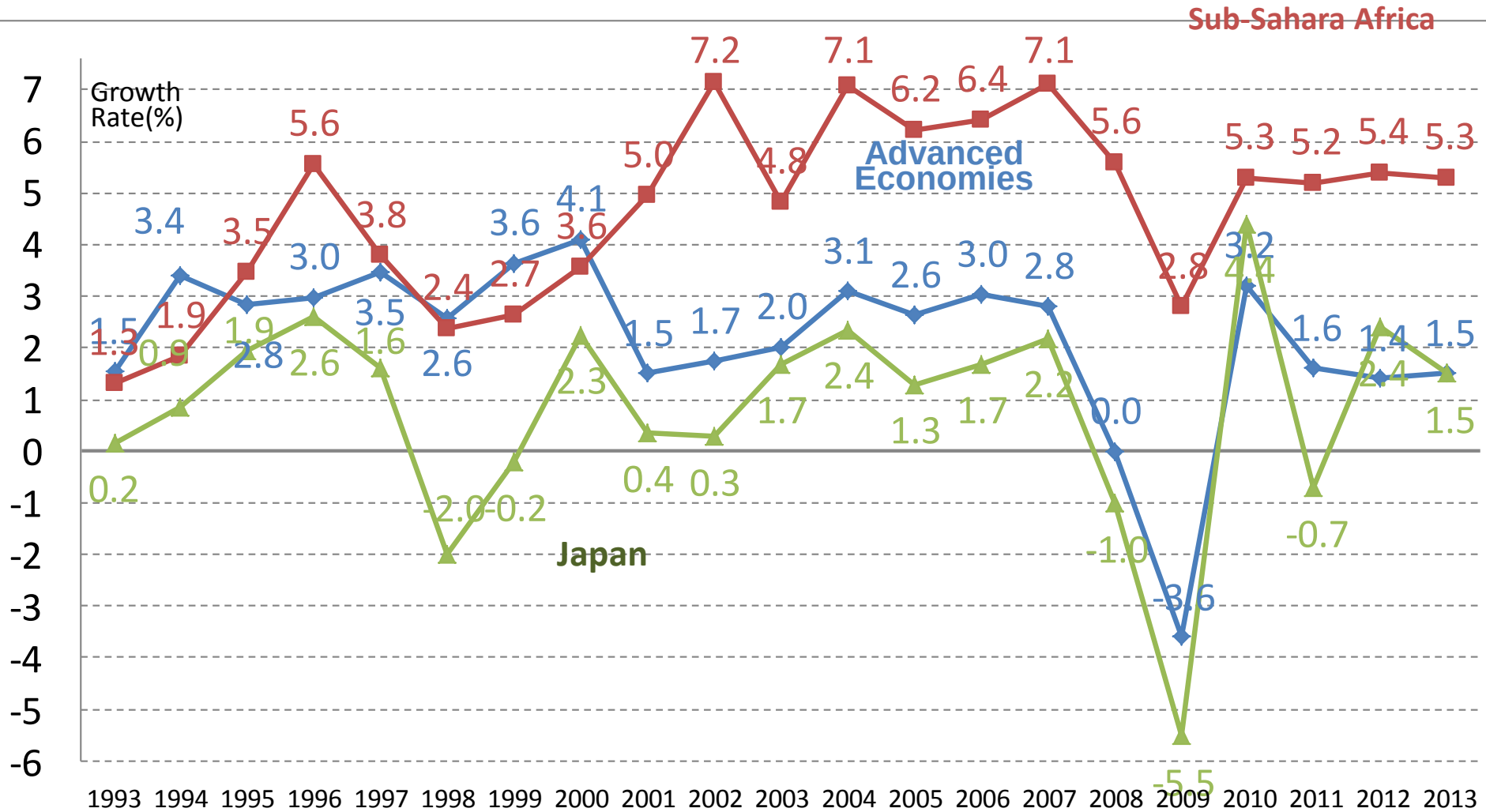
●対アフリカ援助から投資へ

2001年の9.11事件以降、アフリカに対する政府開発援助 (ODA: Official Development Assistance) の関心は伸びていますが、それ以上に民間からの海外直接投資 (FDI: Foreign Direct Investment) が伸びています。2009年にはODAも増額を上回るようになりました。これはアフリカへのビジネスチャンスに対する期待と見られることが期待されます。FDIは2008年の世界金融経済危機の影響を受けて減少したものの、2014年までは回復すると予測されています。



African Economic Outlook:2012

経済成長率



TICAD I

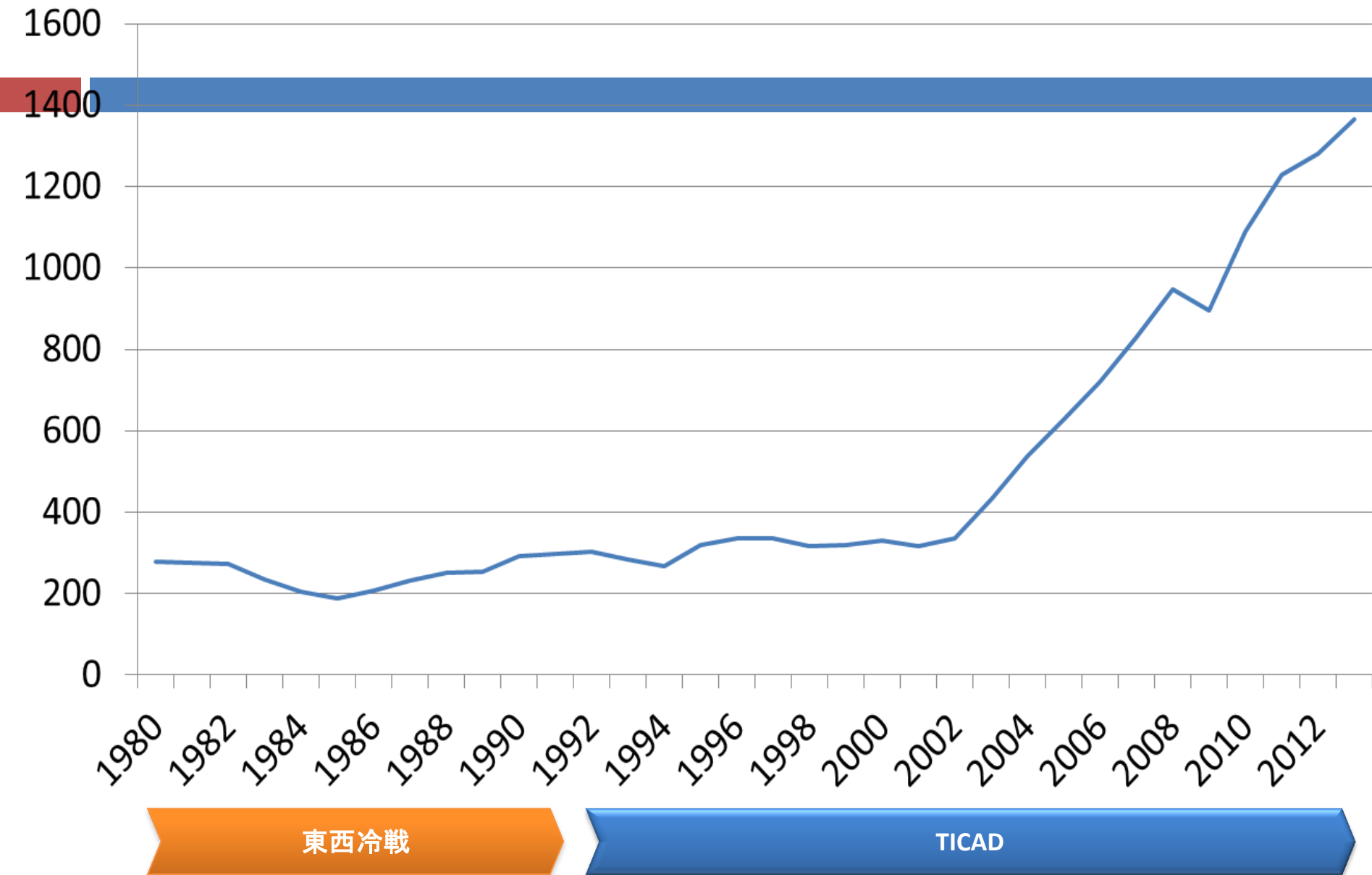
TICAD II

TICAD III

TICAD IV

Source) International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, October 2012

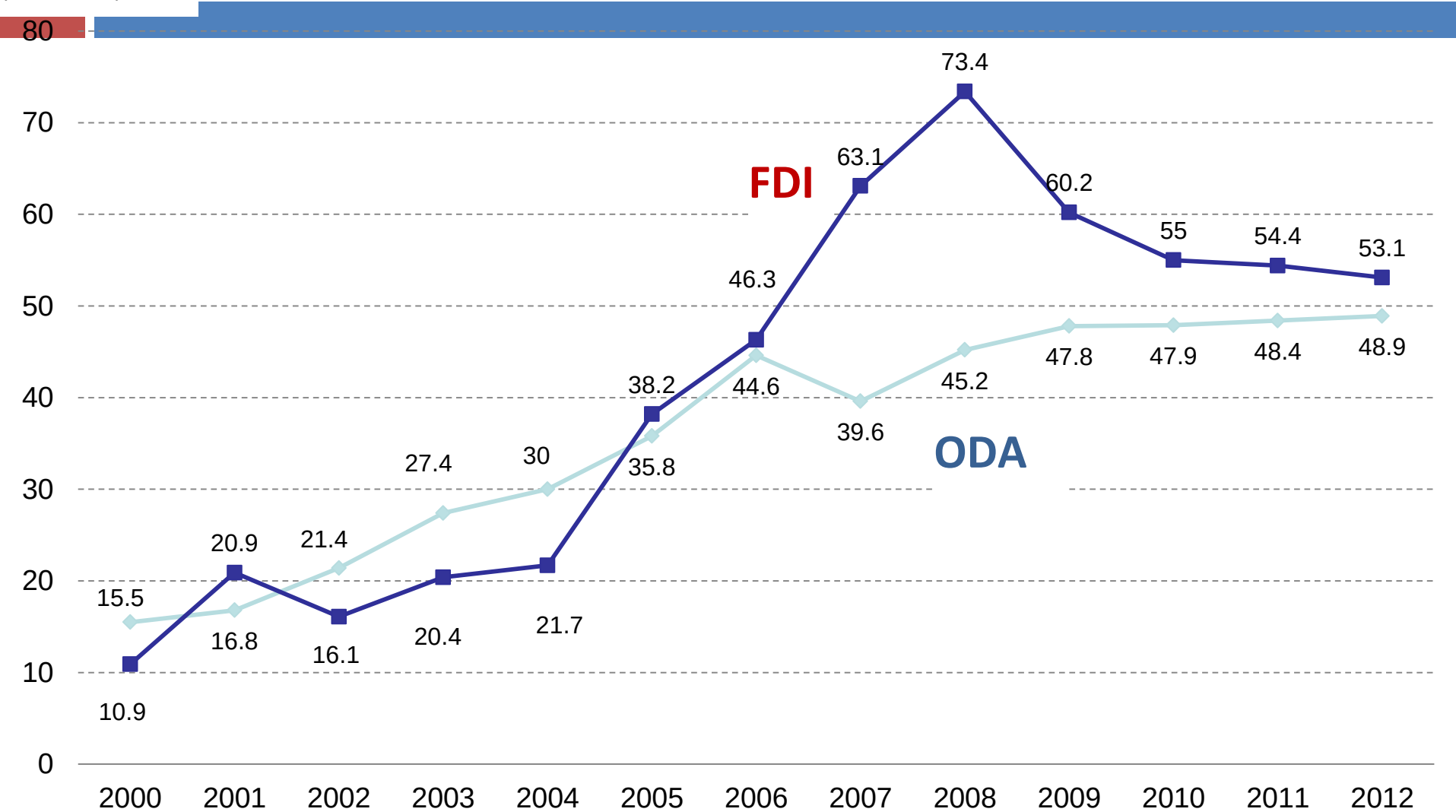
アフリカの成長(一人当りGDP)



Source) International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, October 2012

対アフリカ政府開発援助（ODA）と海外直接投資（FDI）

(億米ドル)



出典: Africa Economic Outlook 2012

TICAD (アフリカ開発会議)

Tokyo International Conference on African Development (TICAD)



TICADの歩み



TICAD III (2003)

「**人間の安全保障**」

(Human Security)

TICAD V (2013)

TICAD VI (2016)

TICAD IV (2008)

- (1) 経済成長
- (2) 人間の安全保障
- (3) 環境問題 / 気候変動対策

**TICAD I
(1993)**

TICAD II (1998)

基本理念制定

- (1) アフリカ自身の**オーナーシップ**
- (2) 国際社会の**パートナーシップ**



TICAD V (2013)



強固で持続的
な経済成長



包摂的で強靱
な社会開発

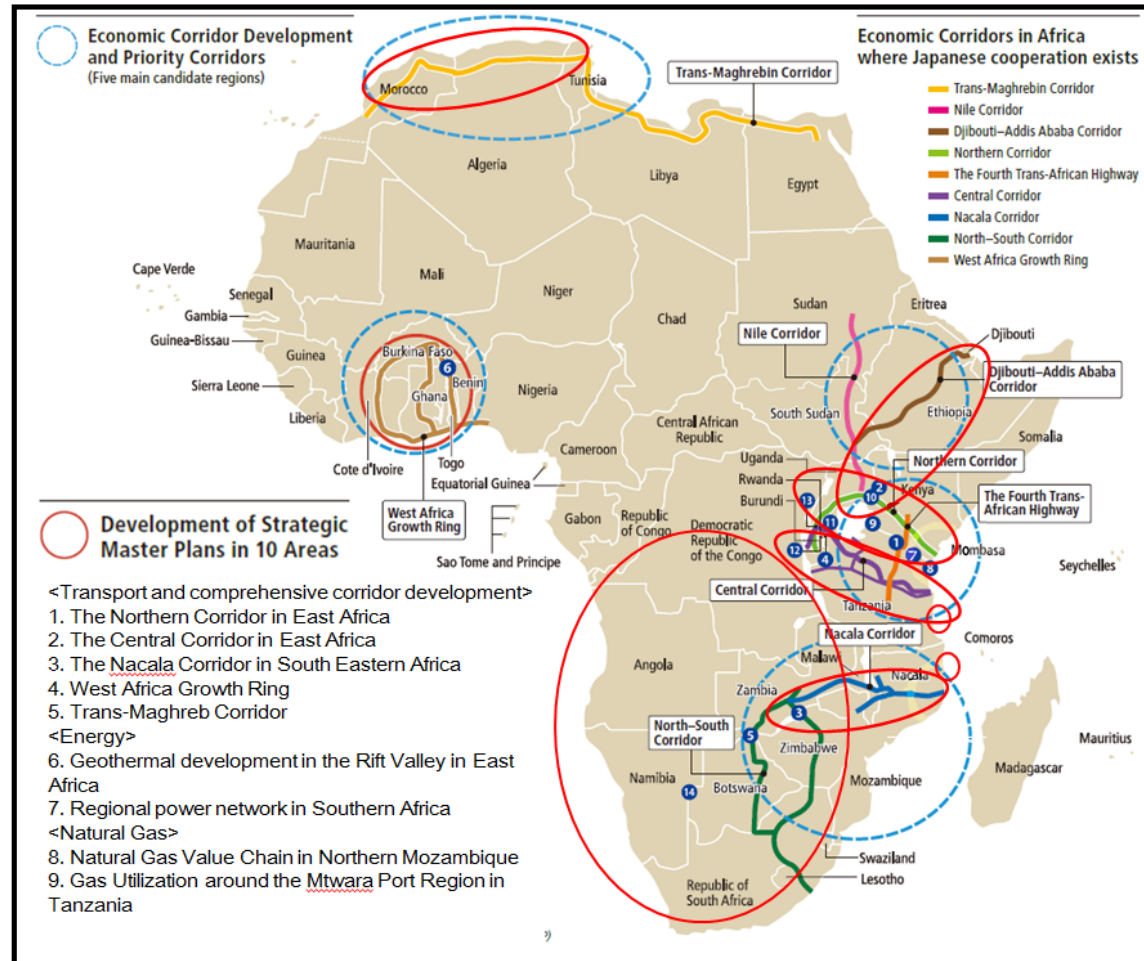


平和と安定

TICAD 3本柱



強固で持続的な経済成長



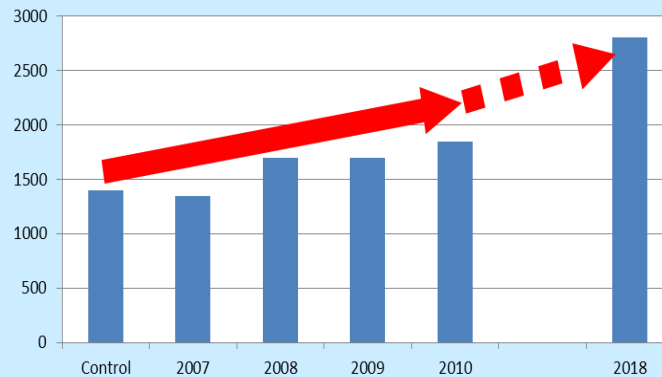


包摂的で強靱な社会開発

サブサハラアフリカ稲作生産量

2009年で1700万トン。
平均12%で増加

サブサハラアフリカのコメ生産量
(万トン、2007-2010)





平和と安定



TICAD VI (ティカッド シックス)



◆時期

2016年

8月24日～27日

◆開催地

ケニア（ナイロビ）

- アフリカ54か国参加
- 初アフリカ開催！

TICAD VI 支援方向性(案)



産業人材育成・ビジネス環境整備

インフラ開発



農業・環境

教育・保健



平和と安定

【質疑応答】

- * アフリカに行った理由、メリット
- * 国際協力、支援をどうとらえているか
- * 農業支援と企業
- * アフリカの負のイメージを払拭し、魅力を知ってもらうためには？
- * 実際の治安、法整備
- * 暮らしや文化
- * 現地で医療事情（医療支援を行うにあたって）
- * 食事
- * 水道事情

図書展示@本館 2 階オープンエリア

トークイベントの語り手 2 人が選んだアフリカの本【11/14-11/25】

写真パネル展示@本館玄関ロビー&渡り廊下

JICA 提供「変わるアフリカ」【開催中 -11/30】

関連企画:公開トークイベント

第6回国際協力カフェ @北大図書館

11/18(Fri.) 18:30-20:00

北海道大学附属図書館(本館) 2 階オープンエリア

語り手



芹沢 領さん

先月、ODA の現場を視察する「国際協力レポーター」としてセネガルに 1 週間滞在。アフリカで感じた“ほやほや”をお伝えします。農業を研究する北大農学院修士 2 年生。CoSTEP11 期生。



古澤 輝由さん

2011 年から 2 年半、青年海外協力隊としてマラウイ共和国に赴任。現地で生活し、科学教育に携わる中で目にした「アフリカの今」をお話します。現在、北大 CoSTEP スタッフ。

聞き手

友成晋也さん (JICA 北海道次長)

1996 年からガーナ、2012 年からタンザニアの JICA 事務所に勤務

見た! 住んだ!

変わりゆくアフリカの今

参加申込

当日参加も受け付けますが、なるべく以下 URL もしくは QR コードから事前にお申込ください。
事前申込者には先着 20 名様まで飲み物をご用意いたします。
<https://www.lib.hokudai.ac.jp/2016/10/27/41382/>



問合せ先

北海道大学附属図書館 利用支援課 読書支援担当
TEL:011-706-2973
E-mail:cref@lib.hokudai.ac.jp



主催:北海道大学附属図書館(国際関係図書館)、国際協力機構北海道支センター(JICA 北海道)
協力:北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門(CoSTEP)